

9773万円の補正

一般会計

林道・町道整備を追加

6月定例会は、6月18日から6月28日までの11日間の会期で開かれ、平成14年度一般会計・老人保健医療特別会計補正予算、専決処分の承認、税条例の一部改正等の10議案が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

審議内容の概要

村づくり整備事業の内訳は

人づくり基金の応募は

としていたため対象外となった。対象者の内容は村おこしグループの研修、福祉の研修、中学生のホームステイ等です。

人づくり基金研修報告は

交付要綱に助成を受けた者は研修報告書を町長に提出し、研修の成果は町民にも公表し、まちづくりにも活用するとあるが、これまで行かれた方でそういったのは出ているのか。また、研修後の報告書は出すべきであるが

上下大迫線今後の計画は

町道上下大迫線改良工事の今後の計

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ9772万9千円を追加し、総額は31億2606万2千円となりました。歳入補正の主なものは、県支出金16330万円、繰越金1938万2千円、町債5890万円となっています。歳出補正では、総務費485万4千円、農林業費3580万5千円、土木費5000万円、教育費369万7千円などで、今回の補正は、当初予算で確保されていた道徳対策事業による町道整備事業等が主な内容となっています。

村づくり整備事業の工事請負費で自慢館の進入路工事が上げられているが、その事業内容は

人づくり基金で19人の応募の内、3人が対象外となっているが、応募内容と対象外理由は

研修報告は

社会教育課長 授業の一環として勉強をする方。個人的技術を取得する方。もう1人は夫婦で応募をされたが、選考委員会の内規で同一世帯の場合1人しか助成をしない

交付要綱に助成を受けた者は研修報告書を町長に提出し、研修の成果は町民にも公表し、まちづくりにも活用するとあるが、これまで行かれた方でそういったのは出ているのか。また、研修後の報告書は出すべきであるが

上下大迫線今後の計画は

補正予算の主な内容

総務費	
総合行政ネットワーク事業	4,700千円
農林業費	
たばこ生産性向上対策助成	643千円
県単独農業農村整備事業（菅元線）	6,000千円
林道改良舗装事業（内田線）	20,000千円
県単治山事業（鶴田地区）	8,000千円
土木費	
道路整備事業（過疎対策事業） （久保田線、花立線、西川内線）	50,000千円
教育費	
柏原小学校外柵設置工事	900千円
人づくり基金補助金	438千円



村づくり整備事業で進入路の拡幅工事が行われる自慢館

Q 武道館横のけや木伐採の委託料は金額が高すぎるのでは。

A 建設課長 現在の事業は本年度で終了となるため、来年度以降、新しく事業を立ち上げたい。けや木伐採の内訳は

Q 学校管理費で外柵工事が計上されているが、どこに設置するものか。

Q 保健師の賃金を計上してあるが、保健師は人材が不足している中、公募もされていないが採用の見込みはあるのか。

Q たばこ生産性向上対策助成の対象者は、また、たばこの収穫

老人保健医療特別会計予算

老人保健医療特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1001万9千円を追加し、総額は11億788万6千円となりました。今回の補正は、前年度の精算による国・県支払基金への負担金等償還金や一般会計への繰出金となっています。